



東京海上・外国株式ファンド

追加型投信 / 海外 / 株式

月次報告書

ファンドの特色 (詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

主に外国の株式に投資します。

「TMA外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主として外国の株式に投資します。(ファミリーファンド方式)

MSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとして、ベンチマークを上回る投資成果を目標としてアクティブに運用します。

原則として、為替ヘッジは行いません。

ファミリーファンド方式で運用を行います。

| | | | |
|-----|------------|---------------|-----|
| 設定日 | 2001年3月30日 | 信託期間 | 無期限 |
| 決算日 | 原則 3月20日 | (休業日の場合は翌営業日) | |

ファンドの主なリスクについて (詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

当ファンドは、主に外国の株式など値動きのある証券を実質的な投資対象としますので、基準価額は変動します。

また、外貨建資産に投資する場合には、為替変動により損失を被ることがあります。

投資信託は、**元本が保証されているものではありません。**また、**預貯金や保険と異なります。**

当ファンドへの投資には主に以下のリスクが想定され、これらの影響により損失を被り、**投資元本を割り込むことがあります。**

- | | |
|----------|---|
| 株価変動リスク | : 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給などを反映して変動します。また、発行企業が経営不安、倒産などに陥った場合は、投資資金が回収できなくなることもあります。 |
| 為替変動リスク | : 外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国・地域の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。 |
| カントリーリスク | : 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化などにより市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想以上に下落したり、投資方針に沿った運用が困難となる場合があります。 |
| 流動性リスク | : 受益者から解約申込があった場合、組入資産を売却することで解約資金の手当てを行うことがありますが、組入資産の市場における流動性が低いときには直前の市場価格よりも大幅に安い価格で売却せざるを得ない場合があります。 |

5ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: **東京海上アセットマネジメント投信**
URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>

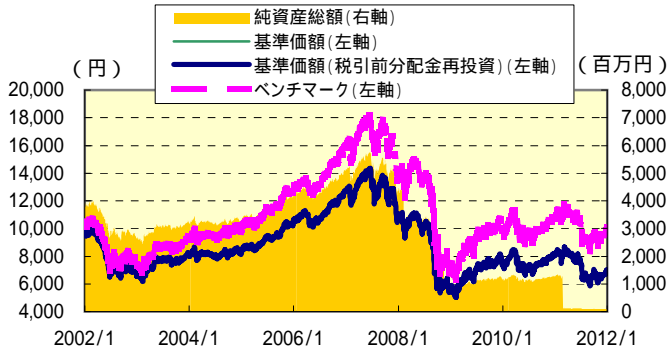


東京海上・外国株式ファンド 月次報告書

追加型投信 / 海外 / 株式

基準価額、パフォーマンスなどの状況

基準価額・純資産総額の推移



基準価額は信託報酬控除後のものです。後述の信託報酬に関する記載をご覧ください。ベンチマークは設定日を10,000円として指数化したもので、参考情報として記載しており、ファンドの運用実績ではありません。(設定日:2001年3月30日)

基準価額は1万口当たりで表示しています。上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。MSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)とは、MSCI社が発表している日本を除く主要先進国の株式市場の動きを捉える代表的な株価指標です。同指数の著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI社の許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用などすることは禁じられています。MSCI社は当ファンドとは関係なく、当ファンドから生じるいかなる責任も負いません。

基準価額・純資産総額

| | |
|-------|--------|
| 基準価額 | 6,849円 |
| 純資産総額 | 101百万円 |

騰落率(税引前分配金再投資、%)

| | 1ヵ月 | 3ヵ月 | 6ヵ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|--------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| ファンド | +3.80 | -3.06 | -9.15 | -14.53 | +22.09 | -31.51 |
| ベンチマーク | +3.40 | +0.43 | -5.71 | -8.27 | +38.18 | -1.96 |

ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算しているため、実際の投資家利回りとは異なります。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

| 期 | 日 | 金額 |
|-------|------------|--------|
| 第6期 | 2007年3月20日 | 0円 |
| 第7期 | 2008年3月21日 | 0円 |
| 第8期 | 2009年3月23日 | 0円 |
| 第9期 | 2010年3月23日 | 0円 |
| 第10期 | 2011年3月22日 | 0円 |
| 設定来累計 | | 分配実績なし |

分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

主要な資産の状況

当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行っており、マザーファンドの資産の状況を記載しています。

資産構成

| 資産 | 比率(%) |
|----------|-------|
| 外国株式 | 97.0 |
| 短期金融資産など | 3.0 |
| 合計 | 100.0 |

純資産総額 11,388百万円

国別投資比率上位10カ国(%)

| 国名 | ファンド | ベンチマーク |
|-----------|------|--------|
| 1 アメリカ | 58.5 | 57.7 |
| 2 イギリス | 6.3 | 10.7 |
| 3 スイス | 5.8 | 3.9 |
| 4 カナダ | 4.4 | 5.7 |
| 5 オーストラリア | 3.9 | 4.1 |
| 6 フランス | 2.6 | 4.2 |
| 7 ドイツ | 2.5 | 3.8 |
| 8 シンガポール | 2.1 | 0.8 |
| 9 香港 | 1.6 | 1.3 |
| 10 スウェーデン | 1.6 | 1.4 |

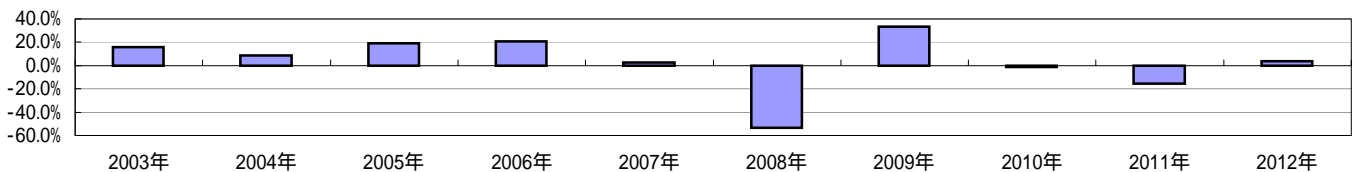
組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 国名 | 業種名 | 比率(%) |
|-------------------------------|------|------------------------|-------|
| 1 APPLE INC | アメリカ | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 | 2.5 |
| 2 INTL BUSINESS MACHINES CORP | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 1.9 |
| 3 NOVARTIS AG-REG SHS | スイス | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 1.9 |
| 4 PFIZER INC | アメリカ | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 1.7 |
| 5 EXXON MOBIL CORPORATION | アメリカ | エネルギー | 1.7 |
| 6 GOOGLE INC-CL A | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 1.7 |
| 7 MICROSOFT CORP | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 1.6 |
| 8 ROYAL DUTCH SHELL PLC-B SHS | イギリス | エネルギー | 1.4 |
| 9 GENERAL ELECTRIC CO | アメリカ | 資本財 | 1.3 |
| 10 NESTLE SA-REGISTERED | スイス | 食品・飲料・タバコ | 1.3 |

組入銘柄数 146

業種名はMSCI産業グループ分類です。比率は、純資産総額に占める割合です。外国株式には不動産投資信託証券(REIT)を含む場合があります。短期金融資産などは、組入有価証券以外のものです。

年間収益率の推移



ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資したものと計算しています。当年の騰落率は昨年未と基準日の騰落率です。上記は過去の実績であり、将来の動向などを示唆・保証するものではありません。

5ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

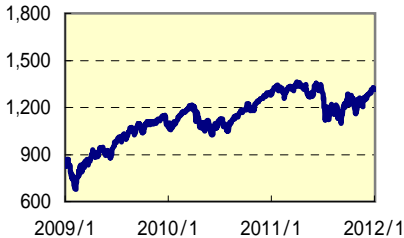


東京海上・外国株式ファンド 月次報告書

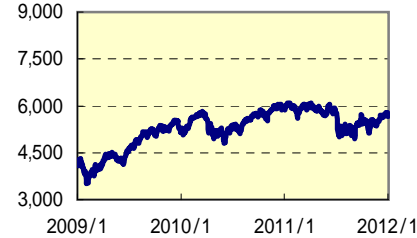
追加型投信 / 海外 / 株式

主要国の株価・為替の動き（過去3年）

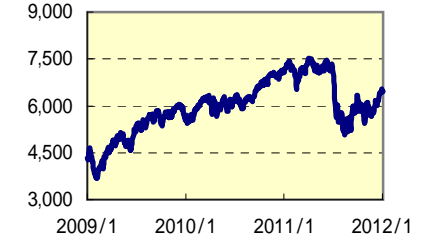
米国(S&P500)



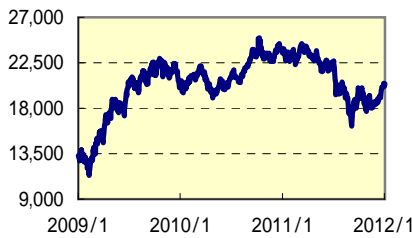
英国(FT100)



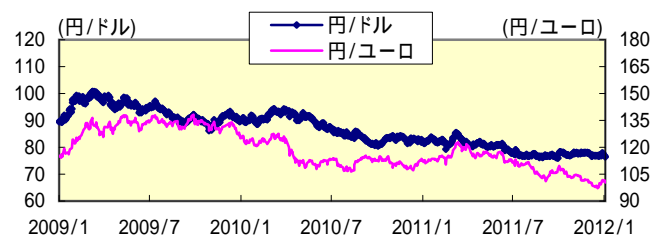
ドイツ(DAX)



香港(ハンセン)



為替



上記は過去の実績であり、将来の動向などを示唆・保証するものではありません。

出所: Thomson Datastream

ファンドマネージャーコメント

投資環境と運用経過

1月の海外株式市場は上昇しました。

月初から、米国や中国などの製造業景況感指数が堅調であったことや、発表された中国経済指標が金融緩和姿勢を期待させる内容であったことなどから、上昇しました。その後、大手格付会社による欧州各国の格下げや一部の大手米国銀行の失望決算もありましたが、中旬には、フランス国債の入札が順調に進んだことや、米国やドイツの景況指数が市場予想を上回ったこと、中国実質GDP(国内総生産)成長率の緩やかな減速が金融緩和を期待させたことなどを背景に、引き続き株価は上昇しました。その後、ギリシャ国債のPSI(民間部門関与)債務再編交渉が進展しない中、欧州各国の国債入札が順調であったことや、FOMC(米連邦公開市場委員会)において低金利政策の延長表明や追加緩和策の可能性を示唆したことなどから、月を通して上昇基調となりました。

為替市場では米ドルが対円で1.7%下落し、ユーロが対円で0.2%下落しましたが、当ファンドの基準価額は前月末対比で上昇しました。

今後の見通し

方向感の定まりにくい展開を想定しています。2月は、欧州ではギリシャのPSI債務再編交渉やイタリア国債償還など、米国においては減税延長について今後議論が本格化するなど、政治イベントが続きます。金融政策面では、FRB(米連邦準備制度理事会)とECB(欧州中央銀行)からさらなる緩和政策が打ち出されるか注目されます。企業業績は利益成長率が鈍化していますが、直近決算は概して予想を上回る内容が発表されており、株価の下支え要因と考えます。



投資信託/総合部門
優秀賞
R&I Fund Award 2011

投資信託/外国株式総合部門

優秀賞

東京海上アセットマネジメント投信株式会社

東京海上アセットマネジメント投信株式会社は、格付投資情報センター(R&I)主催の「R&Iファンド大賞 2011」において、投資信託/外国株式総合部門の優秀賞を受賞しました。

「R&Iファンド大賞」は、過去のデータに基づいたものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、投資の参考となる情報を提供することのみを目的としており、投資家に当該ファンドの購入、売却、保有を推奨するものではありません。また、格付投資情報センターの顧客に対して提供している定性評価情報とは関係ありません。当大賞は信頼すべき情報に基づいて格付投資情報センターが算出したものであり、その正確性及び完全性は必ずしも保証されていません。当大賞は、信用格付行為に関わるものではなく、格付投資情報センターの行う信用格付行為に影響を及ぼすものではありません。当大賞に関する著作権その他の権利は、格付投資情報センターに帰属します。格付投資情報センターの許諾無く、これらの情報を使用(複製、改変、送信、頒布、切除を含む)することを禁じます。「投資信託/総合部門」の各カテゴリーについては、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、必ずしも受賞運用会社の全ての個別ファンドそれぞれについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

5ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント投信



東京海上・外国株式ファンド 月次報告書

追加型投信 / 海外 / 株式

お申込みメモ

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 取得の申し込み : 原則として、毎営業日にお申し込みを受け付けます。
 ただし、お申込日がニューヨーク、ロンドンおよびフランクフルトの証券取引所のいずれかの休業日に該当する日には受け付けを行いません。
 受付は午後3時までとします。
 受付時間を過ぎてからの申し込みについては、翌営業日受付の取り扱いとなります。
- 申込単位 : 販売会社やお申し込みのコースなどによって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
 お申し込みには、収益分配金の受取方法により以下の2種類のコースがあります。
 <分配金受取りコース>分配金を受け取るコースです。
 <分配金再投資コース>分配金が税引き後、自動的に無手数料で再投資されるコースです。
- 申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金の請求 : 原則として、毎営業日にご換金の請求を受け付けます。
 ただし、ご換金請求日がニューヨーク、ロンドンおよびフランクフルトの証券取引所のいずれかの休業日に該当する日には受け付けを行いません。
 受付は午後3時までとします。
 受付時間を過ぎてからのご換金請求については、翌営業日受付の取り扱いとなります。
- 換金単位 : 販売会社やお申し込みのコースなどによって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額 : ご換金請求受付日の翌営業日の基準価額
- 換金代金の支払い : 原則として、ご換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
- 信託期間 : 原則として、2001年3月30日から無期限とします。
- 収益分配 : 原則として、毎年3月20日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に、分配方針に基づいて収益分配を行います。
 分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。
 将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。
- 課税上の取り扱い : 収益分配時の普通分配金、換金(解約)時および償還時の差益に対して課税されます。
 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
 税制改正などにより、課税上の取扱内容が変更になる場合があります。

当ファンドにかかる手数料等について

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

申込時に直接ご負担いただく費用

- 取得時の申込手数料 : お申込手数料はありません。

換金時に直接ご負担いただく費用

- 換金(解約)手数料 : ご換金(解約)手数料はありません。
- 信託財産留保額 : 信託財産留保額はありません。

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

- 信託報酬 : 信託財産の純資産総額に対し、**年1.995%(税抜1.9%)**の率を乗じて得た額
- その他の費用 : 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、信託事務等に要する諸費用などをファンドの信託財産を通じて間接的にご負担いただけます。(「その他の費用」は実際の取引などに応じて決まる費用であるため、その料率、金額などを事前に表示することはできません。)

当ファンドの手数料等の合計金額については、保有期間などに応じて異なりますので表示することができません。

5ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: **東京海上アセットマネジメント投信**
 URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>



東京海上・外国株式ファンド 月次報告書

追加型投信 / 海外 / 株式

委託会社、その他関係法人

委託会社: 東京海上アセットマネジメント投信株式会社

信託財産の運用指図などを行います。

商号等: 東京海上アセットマネジメント投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第361号

加入協会: 社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会

受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

信託財産の保管・管理などを行います。

販売会社

投資信託説明書(目論見書)のご提供、募集・販売の取り扱い、一部解約事務および収益分配金・解約金・償還金の支払いなどを行います。

| 商号(五十音順) | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|-------------------------------|------------------------------|---------|-------------------------|-----------------------|----------------------------|
| | | 日本証券業協会 | 社団法人 日本証券 投資顧問業協会 | 社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会 |
| SMB C日興証券株式会社 (投信スーパーセンター) | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号 | | | | |
| 株式会社 SBI証券 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号 | | | | |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第135号 | | | | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号 | | | | |

(当ファンドの照会先)

上記販売会社または下記までお問い合わせください。

東京海上アセットマネジメント投信 サービスデスク 0120-712-016

土日祝日・年末年始を除く9時~17時

当資料のお取り扱いにおけるご注意

当資料は、東京海上アセットマネジメント投信が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申し込みに当たっては必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社までご請求ください。

当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績は、過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

投資信託は、値動きのある証券など(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。

投資信託は金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、全て投資家に帰属します。

投資信託は、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

投資信託は、預金および保険契約ではありません。また、預金保険や保険契約者保護機構の対象ではありません。

登録金融機関から購入した投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。